

全国学力・学習状況調査の結果より

平成28年4月19日に6年生を対象に行われた全国学力・学習状況調査について、本校の結果等をお知らせします。本校では、本調査により測定できるのは児童が身につけるべき学力の特定の一部であり、教育活動の一側面に過ぎないことを踏まえながらも、これまでの指導との関連を図りつつ今後の指導に生かしていきたいと考えています。

- (1) 国語A(知識を問う問題)は、全道の平均正答率を上回り、全国とほぼ同じ平均正答率でした。漢字の読み書きにおいて十分な成果がみられました。
- (2) 国語B(活用を問う問題)では、全国・全道の平均正答率を下回りました。自分の考えを書く問題では、正しく書くことができている児童と全く書けていない児童の個人差がみられました。
- (3) 算数A(知識を問う問題)は、全国・全道の平均正答率を上回ることができました。基礎的・基本的な学習事項の定着に十分な成果がみられました。
- (4) 算数B(活用を問う問題)では、全国の平均正答率を上回ることはできませんでしたが、全道の平均正答率を上回ることができました。図形の問題に若干無回答がみられました。
- (5) これらの結果を受け、学校では以下の視点を大切にしていきたいと考えます。
 - ・基礎的・基本的な知識・技能の習得については、学ぶ楽しさを味わわせながら、繰り返し学習や体験的活動を重視するなど、発達や学年の段階に応じて習得させ、学習の基盤を育てていきます。
 - ・様々な場面で「書く」活動に取り組み、自分の考えや思いをまとめ、説明できるように指導を続けます。
 - ・つまづきやすい内容については重点的に取り扱ったり個別に指導したりするなど、より確実な定着を図り、分かる喜びを実感させていきます。
 - ・保護者の理解・協力のもと、自学自習の態度や学習習慣の確立・学習意欲の向上・読書活動の充実に努めていきます。

